

# 小学生が創る宮川未来の森①

## ～間伐体験～

大台町立三瀬谷小学校  
大台町立宮川小学校



ね  
ら  
い

- ・学校近くの山で林業体験を行い、健全な森林の育成を通して環境へのアプローチを考える。
- ・体験活動を通して自然について知り、木材の流通と使用など将来の環境保全活動につながる素地を養う。

### 【山の見学】

普段、森に目を向ける機会のない子どもたちですが、身近な森に入りじっくり観察することで、普段は何気なく見過ごしている森の特色を子ども自身が発見することができました。自然林と人工林を見比べたり、人工林の中でも若い林と老齢の林を見比べたり、森の手入れの仕方ですぐ木が変わっていくことを学習しました。観察の結果を積極的に発表しあったことで、お互いに学び合える雰囲気になりました。



### 【間伐体験】

林業の仕事の中でも特に「間伐」という作業の意味や方法を、体験を通して学ぶとともに、自然と人との関わりや、間伐により変化する自然環境について考えました。

子どもたちは木を伐る作業や皮を剥く作業を行い、また、プロの技を目の当たりにすることで、道具を使いこなすことの難しさ、仕事の大変さなどを実感していました。実際に間伐することで、伐る前と伐った後を比較し、生えている木の間隔や陽の光の具合など、環境に与える間伐の意味を知ることができました。

実際に木を伐ることで、木が堅いこと、水を吸い上げていること、皮で大事な部分を守っていることなど、子どもたちの記憶にしっかりと残すことができました。

